



2010年11月号
発行所:野々上事務所
高槻市氷室町4-1-5
072-695-1313
発行人:本田昌子

イクメン論議、再び

今年の流行語大賞の有力候補かもしれない「イクメン」。育児に積極的に参加する男性(Men)をさす言葉です。政治の世界でもこのイクメンが注目を集めています。

事の発端は今年の4月。東京都文京区の成沢広修区長が「育児休業」を宣言し、約2週間公務を休んだことが大きなニュースとなりました。この流れは広がりつつあり、この秋、広島県知事や箕面市長などが相次いで「育児休業」を宣言、公務を一部休んだりしています。

背景にあるのは、男性の育児休業の取得率の低さです。日本の男性の育児休業の取得率は1%程度と超低空飛行。比較的とりやすいと思われるがちな公務員でもこの傾向は同じです。次世代育成支援対策推進法により男性の育児休業取得率は10%程度を目指すこととされていますが、一向に数字は上がりません。このムードを打ち破るべく、育児休業を宣言する「イクメン首長」が続々と誕生しているのです。

ところが大阪府の橋下知事や、北海道の女性知事が異や、

唱えました。自治体の特別職である首長にはそもそも勤務時間という概念が無く、休暇の規定も無いことから、育児休業を宣言することはいかかなものか、という論調です。

しかし、仮に女性の首長が育休でなく、産休をとったとしたら、こんな議論になったでしょうか。この反論の背景にあるのは、育児は女性、と言うまだまだ根深い先入観に思えます。男性の育休取得率向上に向けた取り組みは始まったばかり。それぞれの自治体での取り組みによその首長がイチヤモンをつける前に、自らの取り組みをしっかりと見つけて欲しいと思います。

文京区では、区長が育児休業を取った後の6月議会に「文京区長及び副区長の出産、育児及び介護の期間中の公務に関する条例」を作り、休暇期間を定め、減給規定も盛り込まれました。こういった流れは今後広がって行くのでしょうか。



野々上 愛 (ののうえあい)

1977年9月5日高槻市生れ
阿武野幼・阿武野小・阿武野中・三島高卒、関西外語短大卒、龍谷大法学部卒、同志社大院中退。

オープンオフィス

ご自由にお越しください
◇日時: 11月21日(土)
午前11時~午後4時
◇場所: 高槻市
氷室町4-1-5
ののうえ愛 事務所
お茶を飲みながら、
楽な一時をお過ごしください

しかし、育児休業規定があっても

秋のバスツアー

平城宮跡・明日香村を訪ねて

10月31日(日)ののうえ愛事務所主催によるバスツアーが行われた。行先は遷都1300年で盛り上がる奈良市と明日香村。事務所仲間のバスガイドの軽やかな案内と参加者の楽しい自己紹介。そして訪問先資料と概要説明には皆さん大満足。

まずは平城宮跡へ行き、遣唐使船を横目に見ながら、朱雀門の前で記念撮影。朱雀門より、大極殿(下・写真)へ向いました。大勢の観光客の中、天井画や高御座(たかみくら)を見物しました。その後、唐古ミュージアムへと向いました。

唐古鍵遺跡の前には大和郡山市在住の戸田氏の出迎えを受け、昼食を共にし、遺跡の説明を受けました。唐古ミュージアムでは、弥生時代の遺物を見学しました。

それよりバスは飛鳥路を目指しましたが、途中雨になり、渋滞に巻き込まれてしまい、予定していた藤原宮跡へいけなくなりました。何とか、あすか夢販売

所へ着き、新鮮な野菜や秋の味覚をおみやげに購買しました。バスは雨の中、天武・持統合葬陵を至って、県立万葉文化館へ到着しました。ボランティアの人たちの説明を受け、日本画などを見て、帰路に着きました。帰りの車中では、ビンゴゲームやお誕生



日の人があり、みんなでお祝いし大いに盛り上がりました。参加のみなさんお疲れさまでした。また、楽しい時間を過ごしましょう。

城南町 山下善史

範していくことは必要だと考えます。

野々上 愛

芥川の光景

早朝の芥川は（ここでは名神から北で塚脇橋までを言っている）右岸左岸を問わず多くの人が歩いていきます。10月も末になると朝が明けるのも遅くなり、暗い内からの光景であります。その延長で摂津峡の青少年キャンプ場まで登って来る人も有り驚きであります。聞くとところどころともつと遠くまで歩いている人もあると聞きます。この



ような傾向は最近ますます顕著になってきています。このようにウォーキングしている人が途中立ち寄り場所が、アクアピアの広場です。ここでラジオ体操が10年以上前から行われています。どの様なことで始まったのか定かではありませんが、毎朝100人以上の人が6時30分に集まって来て10分間のラジオ体操をして体をほぐして1日の出発準備を整えると言う訳です。

私は常々考えます。何故に10年以上も続けられているのか、参加して来られるのかと。色々な要因個々によって違うと考えられますが仲間意識のようなものが参加をする中で作られてくるからでしょう。現代人は以外に孤独であり、寂しがりやでもありません。そう申す私も5年目になりますがこの事を通して知り合いも仲間も出来ました。同時に芥川の鳥がいつも心をなごませてくれます。カルガモが子どもを連れて遊んでいる姿はそれは可愛らしく微笑ましいものです。セキレイも美しい姿を見せてくれます。今年はずっと遅いですが渡り鳥も

政治とジェンダー

大学教員 イダヒロユキ

連載第三回

『男女平等度』 日本は94位

世界経済フォーラム（本部ジュネーブ）が10月に、社会進出や政治参加における男女の格



差ランキングを公表しました。格差が小さい国は、1位がアイスランドで、2位ノルウェー、3位フィンラ

ンドと北欧勢が上位でした。日本は134カ国中94位で、主要先進国の中では最下位です。そんな中、APEC（アジア太平洋経済協力会議）の「女性起業家サミット」が10月に岐阜市で開かれたのですが、国内外の第一線で活躍する女性起業家たち約300人の前で、ホスト役の経済産業省の中山義浩事務官（65）が「日本女性は家庭で働くのが喜び」「女性は陰の実力者で、女性が家庭を支えることが日本の文化だ」と発言し、女性団体が抗議するという事態に至っています。何を言っているならわからないから

ないほど、ジェンダーの問題に鈍感で、30年前の感覚のまま政治家を続けているのです。これはこのおじさん個人の問題ではなく、そんな感覚で政治家を続けられるんだという日本の状況の反映と見ないといけません。この程度ですから、一応仙谷由人官房長官や岡崎トミ子男女共同参画担当相が夫婦別姓を追求したいといっています。山谷えり子氏などがあいかわらず国会で反対を唱えており、民主党の中にも同じような考えの人がいて、夫婦別姓でさえ進まないのです。（次号へ）

う帰ってきます。美しいのは何と言つてもカワセミです。この鳥に出会った日は幸せ気味になりま

唯、芥川も川の魚の種類は減少しています。護岸工事による弊害も鳥にも出てきています。人間のエゴが自然の動物、植物に悪い影響を与えているのなら、1日も早く修正しながら共生を出来る道を探つていかなければとも思いますが。動物、植物を含む自然の悲鳴が人間は聞こえますかと問われています。

座禅・写経

先月京都の妙心寺にて座禅、写経を体験して来ました。秋らしく、時折涼しいかぜの吹く中ご住職の法話から始まり、般若心経の説明がありました。

お昼は精進料理です。食事の作法を伝授していただきました。午後からは座禅です。よくテレビで見ると肩を棒で叩かれているあのシーン……私は居眠りしたら叩かれるのだ

【お断り】
連載中の『男のおさんどん』今月は都合により休ませていただきます。

と思つていたので寝たらどうしようかと必死でした。でも実際は身体のマッサージを兼ねて叩かれていますと聞いて少し安心しました。ご住職が来られる少し手前で手を合わせる棒で二回ずつ左右叩かれます。何とか睡眠にも打ち勝ち……休憩の後いよいよ写経です。紙は半紙のような紙で横長、うすく下書きがされているので筆ペンでなぞり書きします。足のしびれと格闘しながら座禅の時もですが……



水室町・高1黒桜

なんとか書き終わると全員で般若心経を誦経して、書き上げた半紙を本堂に焼香、奉納して終了です。疲れましたが、ゆつたりと過ごせた一日でした。次回は「無」になって座禅したいと思えます。皆さんも一度体験されては如何ですか？ 水室町 道辻まち子